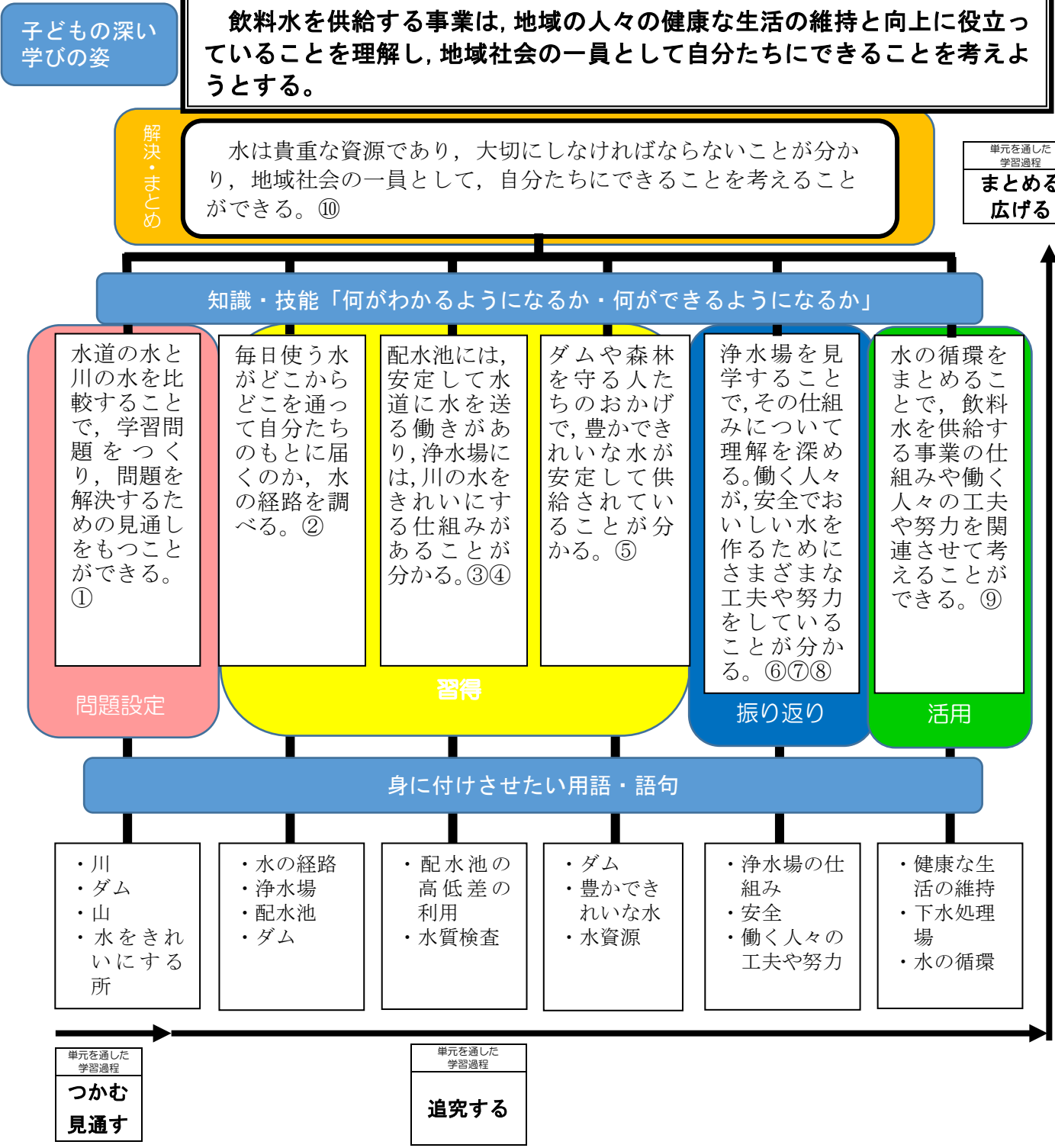


学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
4年	社会科	水はどこから	4年1組34名	4年1組教室	近田 歩実

1 単元について

単元マップ



本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

- 飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。
- 見学・調査したり、具体的な資料を活用したりしてまとめること。

【思考力・判断力・表現力等】

- 飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。

【学びに向かう力、人間性等】

- 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を育てるとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚をもつこと。

単元・題材について

学習指導要領 (2) ア(ア)(ウ) イ(ア)

飲料水の供給の仕組みや経路、人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現することを通して、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できるようにすること。

児童の実態

社会科の学習に関心を持ち、学習問題の解決に向けて主体的に学習に取り組む児童が多い。資料を活用して情報を見付けたり、見学で学んだことをまとめたりする学習に熱心に取り組む児童が多く、発言やノートで表現する学習にも関心をもっている。

『わたしたちのくらしを守る』の単元では、働く人々の工夫や努力を調べるために、消防署の見学を行った。事前調べで興味をもったことや疑問に思ったことをインタビューするなど、学習問題を追究していく力が付いてきた。一方、さまざまな情報から得るものは表面的なことが多く、資料から予想したり、思考を深めたりすることについては課題がある。

『水はどこから』のレディネステストでは、水は水道局から届くと認識している子が59%いることが分かった。水をつくったり管理したりすること、家庭の支払い業務などをまとめて一つの工場のようなもので担っているのではないかと考えていることが予想される。

また、水資源が豊富な環境下で暮らしているため、「水」は大切な資源であるという認識が育ちにくく、日常生活においても節水に対する意識が低い。身近な生活と結び付けて事象を捉えたり、水の循環をまとめさせたりすることで、水資源が有限であるということに気付かせ、地域社会の一員としての自覚が芽生えるように促したい。

単元の目標

- ① 飲料水を供給する事業は、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解する。
- ② 節水など自分たちにできることを考え、表現することができる。

単元の指導について

本単元では、自分たちの日常生活を見直して、きれいな水が24時間365日、自分たちのもとに届いていることに気付かせたい。また、浄水場を見学したりすることを通して、安全で安定的な飲料水の供給は、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることにも気付かせたい。また、そこには、たくさんの人々の工夫や努力があることも考えさせたい。さらに、水資源は有限であるということに気付くことで、地域社会の一員として、節水など自分たちにできることにも目を向けさせたい。

「つかむ・見通す」段階では、自分たちの生活経験を振り返ったり、水道の水と川の水を比較したりすることで、気付いたことや疑問に思ったことを交流し、『水はどこから、どのように、わたしたちのもとに届くのだろう』という学習問題を設定し、学習計画を立てる中で、学習の見通しをもたせる。

「追究する」段階では、どこから、どのようにして飲料水が自分たちのもとに届くのか、その経路について追究する。その際、配水池や浄水場、ダムについて取り扱う。浄水場の見学からは、水をきれいにする仕組みや働く人々の工夫を学習し、ノートにまとめる。情報を整理したり思考を可視化したりする際には、思考ツールを活用する。

「まとめる・広げる」段階では、これまで調べてまとめてきた知識を振り返り、人々のさまざまな工夫や努力によって、飲料水が安全で安定的に水道水を供給していることに気付かせる。また、節水など、地域社会の一員として自分たちにできることを考えさせ、表現させたい。

単元の評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】	【社会的な思考・判断・表現】	【観察・資料活用の技能】	【社会的事象についての知識・理解】
①きれいな水がどのようにして自分たちのもとに届くのかについて関心を持ち、主体的に調べたり考えたりしようとしている。 ②地域社会の一員として、川や森林の環境を守る人々の活動に関心を持ち、自分から節水などに取り組もうとしている。	①浄水場の見学や具体的資料などから調べたことをもとに、水は多くの人の努力や工夫によって、安定的に供給されていることを考え、表現している。 ②節水など自分たちにできることを考え、適切に表現している。	①水の経路について、教科書・副読本・インターネットで調べ、ノートにまとめている。 ②浄水場の見学で気付いたことや分かったことについて、思考ツールを活用してまとめている。	①飲料水が、配水池や浄水場、ダムや森林によって確保され、豊かできれいな水を計画的に供給していることを理解している。 ②飲料水の供給のための事業は、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。

子どもの深い学びの姿

見学や調査を通して、飲料水を供給する事業は、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることに気づき、地域社会の一員として、自分たちにできることを考えようとする。

次	時	○おもな学習活動 ・ 具体的内容 □まとめ	【】教師の評価基準（評価方法） ◇到達が不十分な児童への指導の手立て
1次 つかむ・見通す	①	<p>○水道の水と川の水を比較し、気付いたことや疑問に思ったことをもとに学習問題をつくり、問題を解決するための見通しをもつ。</p> <p>・水は日常生活のさまざまな場面で使われており、身近な存在であることに気付く。</p> <p>・水道の水と川の水を比較し、きれいな水がどのようにして自分たちのもとに届くのかを予想し、話し合う。</p> <p style="text-align: center;">家ではどんなことに使っているかな？</p> <p style="text-align: center;">きれいな水は、どのようにしてわたしたちのもとに届くのだろう。</p> <p>・学習計画を立て、見通しをもつ。</p>	<p>【関・意・態】① きれいな水がどのようにして自分たちのもとに届くのかについて関心を持ち、主体的に調べたり考えたりしようとしている。（発言、ノート）</p> <p>◇水道の水と川の水を比べ、気付いたことや疑問に思ったことを発表させる。</p> <p>＜思考を活性化させるアクティブポイント①＞ 石狩川の水に対する関心を高め、どのようにきれいな水になったのかという予想をゆさぶり、調べて解決したいという意欲を導きだす。【B-①⑤】</p>
2次 追究する	②	<p>○毎日使う水が、どこからどこを通過して自分たちのもとに届くのか、水の経路を調べる。</p> <p>・水の経路について調べ、川から蛇口に水が届く順序について知り、ノートにまとめる。（川・ダム・浄水場・配水池・蛇口）</p> <p style="text-align: center;">旭川は川が多いな。家の近くにも流れている。 遠足で行った公園には噴水があったな。 あれはどこから来ているんだろう？</p> <p style="text-align: center;">水は、さまざまな場所を通過して、わたしたちのもとに届く。</p>	<p>【技能】① 水の経路について、教科書・副読本・インターネットで調べ、ノートにまとめている。（発言、ノート）</p> <p>◇関連する資料に着目させ、資料の内容を読み取らせる。</p>
	③ ④	<p>○配水池や浄水場の働きを調べ、まとめる。</p> <p>・配水池や浄水場の写真や資料を見て、気付いたことをノートにまとめる。</p> <p style="text-align: center;">地震があったときに、給水をしているニュースが流れていたな。何か対策があるのかな？</p> <p style="text-align: center;">配水池には、安定して水道に水を送る働きがあり、浄水場には、川の水をきれいにする働きがある。</p>	<p>【知・理】① 飲料水が、配水池や浄水場、ダムや森林によって確保され、豊かできれいな水を計画的に供給していることを理解している。（発言、ノート）</p> <p>◇関連する資料に着目させ、資料の内容を読み取らせる。</p>

	<p>⑤ ○ダムや森林を守る人たちの工夫や努力について調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忠別ダムの場所や働きについて知り、複数の写真や資料から、森林を守るための工夫や努力に気が付き、ノートにまとめる。 <p>・森でキャンプをしたときに、小川があったな。</p> <p>ダムや森林を守る人たちのおかげで、豊かできれいな水が安定してわたしたちのもとに届く。</p>	<p>【知・理】① 飲料水が、配水池や浄水場、ダムや森林によって確保され、豊かできれいな水を計画的に供給していることを理解している。(発言、ノート)</p> <p>◇関連する資料に着目させ、資料の内容を読み取らせる。</p>
	<p>⑥ ⑦ ⑧ ○浄水場を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場を見学することで、その仕組みを確認する。 ・見学や浄水場の方の話から、水をきれいにする仕組みや働く人々の工夫や努力について知り、まとめる。 <p>・消防署や警察署みたく、働く人々の工夫や努力があるのかな？</p> <p>浄水場で働く人々は、水の安全を守るためにさまざまな工夫や努力をしている。</p>	<p>【技能】② 浄水場の見学で気付いたことや分かったことをまとめている。(発言、ノート)</p> <p>【思・判・表】① 浄水場の見学や具体的資料などから調べたことをもとに、水は多くの人の努力や工夫によって、安定的に供給されていることを考え、表現している。</p> <p>◇見学の視点を伝え、着目させる。</p>
3次	<p>⑨ ○水の循環について調べ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習をもとに、水の循環についてノートにまとめる。 ・水の循環を理解し、水は貴重な水資源であることを理解し、ノートにまとめる。 <p>・そうか、蛇口の水は、排水溝から下水処理場に行っていたのか！</p> <p>水は循環しており、たくさんの人の工夫や努力のおかげで、24時間365日わたしたちのもとに届いている。</p>	<p>【知・理】② 飲料水の供給のための事業は、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。(発言、ノート)</p> <p><思考を活性化させるアクティブポイント②> 今まで学んできたことを、思考ツールを活用して表現することで、自分の考えを整理したり広げたりすることができる。</p> <p>【A-18】 ◇関連する資料に着目させ、資料の内容を読み取らせる。</p>
まとめる・広げる	<p>⑩ ○単元を振り返り、地域社会の一員として自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを整理し、学習問題について考えを書く。 ・節水など自分たちにできることを考える。 <p>・お風呂の残り湯を洗濯に使うのも節水だったのか！ ・うちのシャワーヘッドは節水型だった！</p> <p>たくさんの人々の工夫や努力によってつくられた水は、使う量や使い道を考えることが大切である。</p>	<p>【関・意・態】② 地域社会の一員として、川や森林の環境を守る人々の活動に関心をもち、自分から節水などに取り組もうとしている。(発言、ノート)</p> <p>【思・判・表】② 節水などの自分たちにできることを考え、適切に表現している。(発言、ノート)</p> <p><思考を活性化させるアクティブポイント③> 生活とのつながりを意識させることで、「自分にできることは何か」に気付かせる。</p> <p>【A-?】</p>

パフォーマンス・シート「水はどこから」(10時間学習)

名前 _____

学習問題「きれいな水は、どのようにしてわたしたちのもとにとどくのだろう」

	②	③④	⑤	⑥⑦⑧	⑨	⑩
学習内容	毎日使う水がどこからどこを通過して自分たちのもとに届くのか、水の経路を調べる。	配水池には、安定して水道に水を送る働きがあり、浄水場には、川の水をきれいにする仕組みがあることが分かる。	ダムや森林を守る人たちのおかげで、豊かできれいな水が安定して供給されていることが分かる。	浄水場を実際に見てみることで、その仕組みについて理解を深める。働く人々が、安全でおいしい水を作るためにさまざまな工夫や努力をしていることが分かる。	水の循環をまとめることで、飲料水を供給する事業の仕組みや働く人々の工夫や努力を関連させて考えることができる。	水は貴重な資源であり、大切にしなければならぬことが分かり、地域社会の一員として、自分たちにできることを考えることができる。
レベル4	資料の情報から必要な部分を選び、それぞれの場所の役割を予想しながら、水の経路を正しくノートに書く。	写真や資料の必要な部分を選び、自分の気づきや新たに疑問に思ったことをノートに書く。	写真や資料の必要な部分を選び、自分の気づきや新たに疑問に思ったことをノートに書く。	浄水場の仕組みと、働く人々の工夫や努力、これまでの学習を関連付けて考える。	水の循環について、調べたことや気付いたことを人々の工夫や努力と関連付けてまとめている。	地域社会の一員として、自分ができることやその影響について根拠をもって書いている。
レベル3	資料の情報から必要な部分を選び、水の経路を正しくノートに書く。	写真や資料の情報から必要な部分を選び、自分の気づきを付け足してノートに書く。	写真や資料の情報から必要な部分を選び、自分の気づきを付け足してノートに書く。	働く人々の工夫や努力に気づき、これまでの学習と関連付けて考える。	水の循環について、調べたことや複数の気付いたことを分かりやすくまとめている。	地域社会の一員として、自分ができることを複数書いている。
レベル2	資料の情報から必要な部分を選び、水が通る場所を複数ノートに書く。	写真や資料の情報から必要な部分を選び、ノートに書く。	写真や資料の情報から必要な部分を選び、ノートに書く。	働く人々の工夫や努力について複数気付く。	水の循環について、調べたことや気付いたことをまとめている。	地域社会の一員として、自分ができることを書いている。
レベル1	資料の情報から必要な部分を選び、水が通る場所をノートに書く。	写真や資料の情報をそのまま抜き出してノートに書く。	写真や資料の情報をそのまま抜き出してノートに書く。	働く人々の工夫や努力に気付く。	水の循環について、調べたことをまとめている。	水は貴重な資源であり、大切にしなければならぬことが分かる。

3 本時の学習

(1) 目標

身近な存在である水に関心を持ち、水の経路や水をきれいにする仕組みなどについて、主体的に調べようとしたり考えたりできるようにする。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

(2) 展開【 1時間目／10時間扱】

* 思考アクティブ化シート B-① 【 課題意識重視 】

	児童の活動	思考	□教師の働きかけ◎主な発問◆教師の評価(評価方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○複数の日常生活の写真から「水」が身近な存在であることに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・消防署の水, トイレ, 洗濯, プール, 手洗い, 水飲み ○本時の課題を提示する。 	全体	<ul style="list-style-type: none"> □身近できれいな水を想起させるために, 日常生活の写真を提示する。
わたしたちが使っている水について考え, 学習問題をつくろう。			
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の蛇口から出た水を見て, きれいで透明であることを確認する。 ○石狩川の水を見て, 普段自分たちが飲んでいる水と同じであることを知る。 ○石狩川の水がどこから来たものかを予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・水道局, 山, 海, 川, ダム ○石狩川の水であることを知る。 ○石狩川の水がどのようにして, きれいな水になるのかを予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・だれかがきれいにしている。 ・どこかできれいにしている。 ・どこかを通してきている。 ○疑問に思ったことを整理して, 学習問題をつくる。 	<p>全体</p> <p>全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> □学校の蛇口からペットボトルに水を汲み, そのきれいさを確認する。 □石狩川から汲んできた水を提示し, 蛇口から出る水と同じように, 普段飲んでいる水であると伝える。 ◎この水(石狩川の水)はどこから持ってきたと思いますか。 □石狩川の水であることを伝える。 □実際の水を見せたり, 導入で使った写真を振り返ったりしながら, 子供の思考をゆさぶる。 ◎この水(石狩川の水)は, 一体どうやってこの水(蛇口から出た水)に変身するのでしょうか。 <思考を活性化させるアクティブポイント> 石狩川の水に対する関心を高め, どのようにきれいな水になったのかという予想をゆさぶり, 調べて解決したいという意欲を導きだす。 □児童の疑問を板書で整理する。 □ここで生まれた疑問を基に, 学習問題を考えさせる。
きれいな水は, どのようにして, わたしたちのもとに届くのだろう。			
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を解決するための見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・どこからどこを通してきているのか。 ・水がきれいになる秘密。 ○学習問題を解決するための方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書, 副読本, 書籍, インターネット, 見学 ○本時の学習の振り返りをノートに書く。 	<p>個人全体</p> <p>個人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎この問題を解決していくためには, どのようなことが分かればよいですか。(水の経路, 浄水の仕組み) ◆学習問題を解決するための具体的な見通しをもっている。(発言, ノート) ◎では, どのように調べていけば解決することができるのでしょうか。 ◆身近な存在である水に関心を持ち, 水の経路や水をきれいにする仕組みなどについて, 主体的に調べようとしたり考えたりしている。(ノート)

(3) 評価

◇評価規準の具体（ 評価方法：発表，ノート ）

【社会的事象への関心・意欲・態度】

大いに満足できる（AA）：身近な存在である水に関心を持ち，水道の水と川の水との比較をもとに，学習問題を解決するための見通しを具体的に立て，自分なりの予想を立てている。

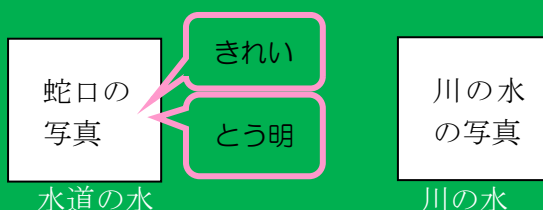
十分に満足できる（A）：身近な存在である水に関心を持ち，水道の水と川の水との比較をもとに，学習問題を解決するための見通しを立てている。

おおむね満足できる（B）：身近な存在である水に関心を持ち，学習問題を解決するために必要なことを考えている。

努力を要する児童への指導：学習問題を確認し，解決のための方法を考えるように促す。

(4) 板書計画

わたしたちが使っている水について考え，
学習問題をつくろう。



どのように？

- ・だれかがきれいになっている
- ・どこかできれいになっている
- ・どこかを通ってきている

学習問題

きれいな水は，どのようにして
わたしたちのもとにとどくのだろう。

<見通し>

- ・どこからどこを通っているのか
- ・水がきれいになるひみつ
- ・水道局や浄水場とは何か

<調べ方>

- ・教科書
- ・副読本
- ・インターネット
- ・本
- ・見学

『思考アクティブ化シートA(単元レベル)』

	子どもの思考の流れ	指導上の留意点 (必要に応じ選択)
次	<p>事象との出会い</p> <p>○具体的な体験や活動を通して学習対象やテーマへの興味・関心、疑問をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><個> あれ? どうして? どうやったの? すごい! おもしろい! やってみたい!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><一斉> みんなで解決したい! 確かめたい! 探したい!</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>*単元を通した「深い学び」につながる課題 (単元のゴール) を明確に設定する。</p> </div>	<p>①子どものよりどころ (日常生活, 生活経験, 既習事項等) を事前調査等で把握する。</p> <p>②実体験 (本物に触れる, 見る, やってみる) や間接体験 (資料や映像を活用) 等共通体験場面を設定する。「ずれ」「あこがれ」「可能性」を感じさせる。</p> <p>③必要な場合は, 基礎情報を集めさせる。</p> <p>④「発問」や「環境構成」を子どもに課題意識, 目的意識が生まれやすいように工夫する。</p> <p>⑤子どもにとって「学習する必然性のある」「目的が明確になる」課題となるように工夫する。課題の共有化と協働で学ぶ意欲化を図る。</p>
二	<p>解決への見通しをもつ</p> <p>○自らが解決すべき課題を明確にする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><個> ~をしらべたい。~を確かめてみたい。</p> </div> <p>○学習課題追究解決への見通しを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><個> ~すれば解決できそうだ。~を使って調べたい。~するためには~を知りたい。~するのにこれくらいの時間がほしい。</p> </div> <p>○計画を基に主体的に追究し, 解決活動を行う。</p> <p>○協働的な学びを通して学びを深めていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><個>自分は何を「何を」分かったのか ~は分かったけど, それなら~は?</p> </div>	<p>⑥<個の思い>から,<学級全体の課題>へと収束し課題を把握させる。(子どもの言葉を大切に)</p> <p>⑦学習の(ゴールへの)方向性や解決の方法, 追究観点等のイメージを子どもにもたせる。(教科や領域に応じた見通しの内容や方法を選択する)</p> <p>⑧具体的な学習計画を子どもと共に立てる。</p> <p>⑨単元を通して育てたい資質・能力に沿って, 調べ方, 学び方を提示したり, 子どもが(対象や方法を)選択したりする等, 個に応じて対応する。</p> <p>⑩追究活動は, 対話的な学習を意識して進め, まとめ方や小単元のゴールを意識させる。</p> <p>⑪追究活動では, 試行錯誤できるように十分な時間を設定する。</p> <p>⑫目的に合わせて学習形態やグルーピングを工夫する。(必然性, 目的意識, 参画意識を重視する)</p> <p>⑬子どもの思考のスタイルや流れが「見える」ように工夫する。(付箋紙, ICT, 各種ツールの活用)</p>
三	<p>新たな課題設定見直し追究解決</p> <p>○既習事項(小単元の追究)を基に, 新たな課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><一斉> そうなんだ! わかった! できた! でも, 自分ならこう考えるな…?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><ペア・グループ>対話を通して学ぶ ~は~ということだったよ。~するためには~すればいいんだ。~さんが言っているのは~ということだね。これでいいのか? 他に方法や考えはないかな?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><一斉>妥当性の検討, 新たな知の創造 つまり~ということだね。例えば~だね。 ~ということが明らかになったね。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>*単元のゴールとしての子どもの変容した姿を設定する。</p> </div>	<p>⑭できるようになったこと, 分かったことを基に, 新たな課題を設定する。(子どもの主体的な学びを大切に) *教師の都合だけで進めない</p> <p>⑮具体的な追究計画を立て, 解決への見通しをもつ。</p> <p>⑯必要な情報を集め, 課題に即して思考ツール等を活用し整理する。「思考の流れ」が見えるように工夫する。</p> <p>⑰課題に即して, 集めた情報を分析する。子どもの思考のスタイルや流れが「見える」ように工夫する。(付箋紙, ICT, 各種ツールの活用)</p> <p>⑱「子どもの見取り」を適切に行い, 個に応じた目標達成への支援を具体的にを行う。</p> <p>⑲自分の考えをしっかりとらせてから話し合わせる。</p> <p>⑳「ゆさぶり発問」や「本質的な問い」を工夫し, 熟考させる。(批判的思考も重視する)</p>
三	<p>振り返り吟味</p> <p>○単元を通して学んだことの意味を考え, 自分の学びの成果を自覚する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><個>概念的意味を考える そうか。~はこういうことだったんだ。 ~だけではなく~から考えると~だね。</p> </div>	<p>? 交流場面が自力解決の集合体にならないよう, 対話的交流が生まれるように工夫する。</p> <p>? 学びの自覚化を促し, 学びの有用感をもてるように工夫する。生活とのつながりを重視する。</p> <p>? 自分の獲得した知の妥当性と有用性を批判的に評価し, 社会とのつながりを意識させる。</p> <p>? 各教科等の特性に合わせた深い学びを整理する。</p>

* 次構成は指導時数や領域・内容構成により柔軟に考える。

『思考アクティブ化シート B-①【課題意識重視】』

	子どもの思考の流れ	指導上の留意点（必要に応じて選択する）
<p>導 入 20～25分</p>	<p>事象との出会い ○強い興味・関心，動機付けとなる事象と出会う。</p> <p>「?」「!」をもつ ○具体的な体験や活動を通してテーマへの興味・関心，疑問をもつ。</p> <p>課題意識の芽生え ○芽生えた思いから，学習課題へつなげる。</p> <p>課題意識をもつ ○子ども自ら解決すべき課題を明確にする。</p> <p align="center">*課題の設定「単元全体の（ゴールイメージがもてる）課題」「子どもにとって意味のある課題」</p>	<p>①子どものよりどころを把握する。（日常生活，生活経験，既習事項等）</p> <p>②直接体験（触れる，見る，やってみる）や間接体験（資料や映像を活用）等共通体験場面を設定する。 ・直接体験～ひと，もの，こととの出会い，試行活動，日常生活における困り感等 ・間接体験～過去の経験映像や様々な資料（客観的なデータ，映像等）</p> <p>③これまで自分がもっていた考えとのや違いを認識させる。</p> <p>④子どもとつながりのある（生活や思い等）課題となるように工夫する。</p> <p>⑤芽生えた課題意識を強く，明確にするために「発問」や「環境構成」を工夫する。</p> <p>⑥「対話」を通して，芽生えた思いを整理させながら，意識化させる。</p>
<p>展 開 10～15分</p>	<p>解決への見通しをもつ ○学習課題への解決の見通しを立てる。</p> <p>次時へのつながり ○次時からの具体的な手立てを考える。</p>	<p>*【課題設定重視】では，この段階が追究ではなく「見通しをもつ」段階になる。</p> <p>⑦子どもと共に具体的な学習計画を立てる。 ・既習事項，過去の経験を基に解決の方法を考えさせる。 ・追究の方法を具体的に考えさせる。 ・解決に向けて必要なものや事柄を考えさせる。 ・仮説や予想を立てさせる。（何を，どこまで達成すればよいか，ルーブリック他） ・まとめ方や表現の仕方を考えさせる。</p> <p>*課題設定重視ではこの段階がまとめではなく「次時への意欲化」になる。</p> <p>⑧次時からの学習について調べ方（対象，方法）学び方（形態，進め方）等を確認する。</p> <p>⑨ゴールイメージと毎時間のねらい（ルーブリック他）の関連性をもたせる。</p>
<p>終 末 5～10分</p>	<p>本時の振り返り ○単元全体の見通しをもてたか，振り返る。</p>	<p>⑩課題が明確になったかどうかを振り返るための視点を工夫する。 例・自分の課題が明確になったか ・学習計画を立てるために有効だったこと，難しかったこと ・自分の今日の学びのよさ，友達のよさ</p>